

2019年11月20日 中東時事 スペシャルアップデート

アミール・ツアルファティ

- 米国のイスラエル入植地に関する認識ほか -

<https://youtu.be/3TwNPlvzPeo>

それでは皆さん、最新のニュースから始めましょう。いま、私はまさに見ているところです。私は片目をテレビに向けています。ご存じのように、イスラエルの第2回選挙は、基本的に未決定の結果で終わりました。つまり2人の候補者は、61議席の過半数を確保できず、政府を形成することが出来ませんでした。ベンジャミン・ネタニヤフは、最初に政府を形成する権限を与えられました。しかし、彼は61議席を取れなかったため、それはかなわず、それで彼は、権限を大統領に返しました。大統領はその後、その任務をベニー・ガソンの肩に置きましたが、彼は、ほんの1分前に、大統領にその権限を返し、そして言いました。

「申し訳ない。私も失敗しました。」

そして今、イスラエルの法律に従って、国会議員が首相となるために、その人と一緒に座る意志のある者61人分の署名を集めることが出来る期間が21日間ありますが、だれひとりとして…。ご存じの通り。我々には、もはや最大の党の党首がおらず、61人の署名を得た人は、だれでも政府を形成することが出来ます。もちろん、それは非現実的です。それは決して起こらなかった。おそらく、今後も決して起こらないでしょう。つまり、それは奇妙で予測不可能な何かが起こらないかぎり、イスラエルは、選挙の第3ラウンドに進むことを意味します。最も高い可能性として、2020年3月の初めです。皆さん、つまりこれは、次の2つのことを告げています。第1に、ベンジャミン・ネタニヤフが、3月までこの暫定政府の首相であり続けるということ。第2に、それはイスラエル政府が基本的に閉鎖されることを意味します。なぜなら、選挙前に暫定政府があるとき、維持するための業務を除いては、ほとんど何も出来ませんから。大きな改革はなく、大きな変化もなく、いくつかのことを修正するための予算の特別な削減もなく、なにもありません。ですから、イスラエルの経済は、第3四半期に4.1%も成長したのは奇蹟的だと言っているのです。これは奇蹟です。聞いてください。皆さん、中国に次いで2位ですから、これは奇蹟なのです。世界の他国は、かろうじて1%または2%に達するかどうか、それだけです。イスラエル経済は、4.1%も成長しました。これは非常に、非常に素晴らしいことです。しかし、選挙の第3ラウンドは、おそらく差し迫っています。そして、私たちはそれについて、ワクワクしていません。しかし私たちは…このように言いましょう。私は、ベニー・ガソンと、彼のリベラルな組織の政府よりも、そちらの方が良いと思います。私に関するかぎり、それは祈りの答えです。

では、別の話題に行きましょう。皆さん。2日前、私たちが朝一番に見つけたこと。アル・クッズ旅団、現在、ダマスカスのエリアに駐留しているイランの旅団が、イスラエルのヘルモン山に向かって4発のロケット弾を発射したのです。アイアンドームは、それらの全てを迎撃しました。イスラエルには何も落ちず、何も損傷を引き起こしませんでした。死傷者は出ていません。しかしイスラエルは、その1つを見過ごしにしないことを決意。そして、今朝の午前1時、つまり24時間以内に、イスラエルはダマスカス周辺の数十のイランの標的に対して、非常に大規模な攻撃を開始しました。その後、シリア軍は、彼らの防空システムで私たちの航空機に向かってロケットの発射を開始したときに、我々はまた、地上で彼らの防衛システムを破壊しました。ですから、イランの標的とは別に、私達には自分たちを守るために破壊しなければならないシリアの軍事目標があったのです。また、私たちが知るかぎり、これまでに23人が死亡し、そのうち18人がシリア人ではなく、外国人でした。そして、彼らは、高い可能性でイラン人です。さて、新しい交戦のルールの下で、イランはおそらくその復讐を試みるでしょう。しかし、私には言うことができます。そこから、今、イランで起こっていることに移ります。

先週…、実際には1週間未満です。この4、5日間、イランのガソリン価格の急激な上昇以来、イラン中のデモは、今や手に負えず、250人以上が射殺されました。政権は、すでに反乱を鎮圧しており、彼らがすでに支配し、全てがうまくいっていると主張しています。しかし、彼らはイラン全土でインターネットをシャット

トダウンしました。ただ、私たちは携帯電話から、衛星携帯電話からの映像を持っています。そして、他のメディアの情報源が、いくつかのことを示しています。まず第1に、イランの人々に発射された実弾を映しています。そして、我々はまた、イラン人が、まさにウンザリしているのを見ています。つまり、彼らは写真を燃やしているのです。イスラエルではなく、ネタニヤフでもなく、トランプではない。そのどれでもなく、彼らが燃やしているのはアヤトラーの写真です。イラクでは反イラン・デモがあり、レバノンでの反イラン・デモ、シリアでの反イラン的“行動”があり、そして今、イラン自体で、反イランのデモがあります。イランは追い詰められています。彼らの経済は崩壊し、彼らの国民は反乱を起こしている。これは非常に驚くべきことです。もう一つ知ってほしいのは、私たちはイスラエルの第3回選挙について話しました。我々が攻撃を受けたという事実について話しました。その後、報復したことも。今日のイランで何が起きているのかも話しました。次に、2日前、驚異的なことが起こったということをお伝えします。

さて、イスラエルのメディアは、アメリカやヨーロッパのメディアと同じくらい悪くて、“ミデヤン人”、彼らはリベラルであり、革新的であり、狂信者、彼らは狂っています。そして彼らはグローバリストの働きに貢献しています。彼らは彼らによって資金を調達しているので、彼らは、彼らのポケットに入っています。そして、彼らは彼らの一部であり、彼らはそれらに属しています。そして、そのうちの1つ、記者の何人かが報じ、示唆しました。「トランプ大統領は、もはやイスラエルやネタニヤフを助けることに興味がない。単にネタニヤフが選挙に勝たなかったという理由で、彼が敗者と見なされているために、トランプはネタニヤフから距離を置いている。そして、両首脳の間ハネムーンは終わった。」と。もちろん、彼らはいつも攻撃してきました。彼らはいつも間違っただけを予測してきました。そこへ、ポンペオ長官による、信じられないほどのアメリカの発表が発表されました。「アメリカは、ユダヤとサマリアのイスラエル入植地に対するアプローチを変えるつもりだ」と。皆さん、理解する必要があります。ユダヤとサマリア、これらは聖書のイスラエルの山です。預言者が「イスラエルの山」と言う時はいつも、彼はユダヤの山々と、サマリアの山々について話します。そして皆さんに伝えたいのは、ユダヤ人が彼らの祖先の祖国へ帰還すること。それはたいしたことではないはず。つまり、そこが彼らが属する場所ですから。皆さん、過去600年の間に、パレスチナの考古学的証拠の断片は、全く見つかりません。我々が、何百万もの破片を見つけたという事実は言うまでもありません。2000年前、2500年前、3000年前のヘブライ語か、何か聖書と関係のあるものです。ユダヤ人は預言者を通して神から与えられた約束の直接的な成就として、土地に戻りました。6日戦争以来、彼らは聖書の祖国、ユダヤとサマリア、イスラエルの山々に戻っています。イスラエルは1967年に西岸地区を取りました。しかし、おそらく皆さんが理解していないのは、私たちがヨルダンからそれを取ったということ。ヨルダンはイギリスの権限から取りました。イギリスの権限は一時的でしたが、しかし彼らはオスマン帝国からそれを取りました。彼らは前の人からそれを取り、それは十字軍から取られたもので、それは…。ずっとさかのぼると、そこにユダヤ人が存在していた時代に戻ります。そして、私が言いたいのは、皆さん、もし我々が、それをヨルダンから取ったのなら、ヨルダンに返すべきだったでしょう。しかし我々はヨルダンとの和平を持っており、ヨルダンは西岸地区に興味がありません。一度も存在していない国に、土地を返還することは出来ません。パレスチナ国家は、ないのです。私たちは、一度もパレスチナ国家から奪ったことはありません。そして、パレスチナ国家に戻すことは出来ません。しかし、私は言いたい。皆さん、PLO、パレスチナ解放機構は1964年に設立されました。イスラエルは1967年にそれを取ったが、パレスチナ解放機構は、1964年に設立されたのなら、どうして彼らは1964年、一度もヨルダンやガザ、エジプトに西岸地区を求めないのですか？しかしそれは、イスラエルがそこにいるときだけ、突然、イスラエルが占領者です。突然、そこがPLOの場所です。言わせてください。これはデタラメです。しかし1978年、超超クレイジーのカーター政権の間、国務省の顧問のひとり、ハンセル氏が法的意見を聞いて、基本的に西岸地区のイスラエルの入植地は、国際法に反していると言いました。そしてそれ以来…、もちろん、カーター政権はそれを受け入れました。なぜなら、彼はユダヤ人の故国への帰還を、決して合法だと思っていなかったから。カーター大統領は、そもそもシオニストの考えを最初から嫌っていました。彼はそれ以来、“パレスチナの大義”の最大の支持者です。しかし、私は皆さんに言いたい。皆さん、それ以来、国務省はユダヤ人の祖先の祖国でのユダヤ人の入植地を、違法として組織的に保持しています。それが、ポンペオ長官は、2日前に発表しました。「アメリカは、もはや西岸地区の入植地を、違法として対応しない。」それが何を意味するか分かりますか？次のステップは、ユダヤとサマリアを、実際にイスラエルの一部とし

て認めます。そして、我々が確実に、非常に、非常に迅速にしなければならないのは、最終的に、キッパリとイスラエルの東部国境を設定し、そしてヨルダン渓谷を、イスラエルの領土として宣言することです。これまでのところ、イスラエル人でさえ、そこをイスラエルの国土として考慮していません。なぜなら、私たちはヨーロッパやアメリカを怒らせることを非常に恐れているのです。さて、アメリカは、いま言ったことを言いました。ゴラン高原の認識、エルサレムの認識と共に、皆さん、西岸地区の入植地のこの認識は驚異的です。そして、それはトランプ大統領は、もはやイスラエルの友人ではないと考えていたすべての人の顔に大きな打撃です。彼は、少なくともイスラエルに関しては、これまでホワイトハウスに座った中で、最も偉大な大統領です。そして、私は言いたい。人々は私のことを政治的だと非難しますが、私は政治的ではありません。そこにはアメリカ合衆国の大統領が座っていて、そして、聖書の祖先の祖国を、ユダヤ人が住むことが出来る場所として認識しているのです。どうしてそれが間違いであり得るでしょう。エルサレムがイスラエルの一部であり、イスラエルの首都である事を認めているのです。どうしてそれが間違っているのでしょうか。古代シナゴークが数十あるゴラン高原が、イスラエルの一部である事を認めているのです。皆さん、どうしてそれが間違っているのですか？そして、戦争の最大の加害者として、イランを指し示しているのです。ところで、私たちは毎日それを感じ、見ています。この48時間で、イランと対立したばかりです。イランでは食べる物がありません。イランでは戦車に入れるガソリンがない。しかし彼らはイスラム・ジハードやヒズボラを支援し、シリア、イラク、イエメンにいる彼らの仲間を支援するための、世界の全てのお金を持っています。それが世界がトランプ大統領を憎む理由です。なぜなら、彼は人々を名指しで呼びますから。そして、彼は基本的に人々を欺いていない。皆さん、言っておきますが、あの弾圧公聴会は、ジョークですよ。だれもが、それが冗談だと知っている。いったん上院に行けば、もちろん失敗するでしょう。しかし、上院が独自の調査を行うと、私は、全ての事実が明らかになると思います。そして、物事はあそこで面白く、バカバカしく終わるでしょう。

しかし、私はあなたに言いたい。皆さん、イスラエルが昨夜行った攻撃は素晴らしかったです。そして、ほぼ20人のイラン人が殺されただけではありません。イランはダマスカスで何をしているのか。そして、どうしてイランは、ダマスカスに定着して、イスラエルにロケット弾を向けているのか？しかし、私はあなたに言いたい。皆さん、昨夜、攻撃をしたときに、1つのことに気づいたのです。彼らの防衛システムが発射したロケットのほとんどは、実際、旋回して落下したということ。そして、それはおそらく、私たちが彼らのナビゲーションシステムを狂わせて、それらがターゲットを見失ったからです。そして、ロケット弾はただちに旋回して、あちらで落下したのです。皆さん、ロシアは何も言っていません。ロシアは、我々が正当な標的を攻撃することを理解しているからです。ロシアは、イランがダマスカスにもたらしている混乱に対して、超興奮してはいません。ロシアは、この地域に何らかの平和的解決をもたらそうと、ずっと努力しているのです。なぜなら、彼らはシリアの再建を始めたいですから。彼らはロシアの請負業者に、そこで契約を勝ち取ってもらいたいと思っている。彼らは、復興のために何十億ドルもがシリアに流入することを望んでいる。しかし、あなたと私は知っています。再建は、聖書が、ダマスカスについて私たちに語っているものではありません。むしろ、もはや住めないという点まで完全消滅する。それが、聖書が予測しているものです。そして、それが起こる時、ロシアがイザヤ17章の通りにダマスカスが完全に崩壊するのを見たとき、彼らが、シリアで数十億ドルをムダにしたのを見たとき、この時、彼らが私たちに対して攻めて来て、情け容赦がありません。彼らは、とても残酷になります。なぜなら、彼らにとってのチャンスが終わりますから。とても興味深いことになります。ということで、私はイスラエルの政治システムで起こっていることについて話し、昨夜、シリアで起こったこと、イランとの直接対決について話しました。イラン自体で起こったことも、お話ししました。そしてまた、皆さん、アメリカの認識で何が起こっているかをお話ししました。そして、次のステップで、私たちは何をするのか。聞いてください。これらは歴史的な日です。これらは素晴らしい日です。正直なところ、私はアメリカの大統領が、ゴランと西岸地区をイスラエルの領土として認識するのを、生きて見る間には思いませんでした。私は、それを生きて見るとは思わなかった。しかし、イスラエルの政治家は、首相と彼自身の党を除いては、それについて興奮するのではなく、他のだれもが、それについて懐疑的です。つまり、イスラエルの左翼記者が言っていることは、「民主党が勝利すれば、すぐに西岸地区は入植地となり、再び違法になるだろう」彼らが望むのは、それだけ。彼らがほしいのは、それだけです。それが、彼らが待っているものです。だから我々は、非常に気まずい瞬間にイランを捕まえた

のです。彼らは、多くの問題に取り組んでいます。しかし我々は、彼らがそこで行っていることを容認しない事を彼らに明らかにしました。イスラエルは、おそらく3回目の選挙に向かっています。そして、もちろん皆さん…、最後に言いたかった事を忘れてしまいました。しかしポンペオ長官があれを発表した直後、欧州連合は、それに反対するところでした。彼らはパレスチナ人の最大の支持者ですから。実際、彼らはイスラエルの製品に「入植地」とラベル付けする事を決めたのです。私に言わせれば、それは反ユダヤ主義だと思います。世界中で、こんな所はどこにもありません。両者に対立があるのに、その商品にラベル付けされるなんて。これは前代未聞です。しかし、私は伝えたい。私たちの良き友人、ヴィクトル・オルバン、ハンガリーの首相、ネタニヤフとトランプ大統領の非常に良い友人である彼は、アメリカの宣言を非難しようとするEUの試みを阻止しました。EUの規則に従って、そのようなものは満場一致で受け入れられなければなりません。そこでハンガリーは、拒否権を使って「それはない」と言っているのです。ネタニヤフと、現在のトランプの非常に良い友人であるハンガリーの首相は、EUがアメリカ国務長官の言葉と決定を非難するのをやめました。ヨーロッパに関するかぎり、彼らは「まだ違法だ」と言いましたが、しかし、彼らは米国の決議について一言も発言しませんでした。これこそ、あなたが立ち上がり、邪悪なものの前に頭を下げない事を示す時です。だから、私は超、超興奮しています。邪悪が多く行われているのは分かっています。非常に多くの欺き、多くの嘘が起っています。それと盲目さ。私はイスラエル人です。私たちは裏切られてきました。要塞は破られた。イスラエル人の半分は、完全に盲目です。イスラエル人の半数は、彼らがグローバルリストと世界統一政府のシステムによって弄ばれてきたことに、全く気づいていません。それは私たちを弄び、世界の他の多くの部分を弄んでいます。私にも、それは見えます。しかし、私はあなたに言う事ができます。皆さん、祈りは聞かれます。そして、私たちがここにいるかぎり、私たちの仕事は、祈り、福音を広めることです。そして、私たちの御父の仕事をし、行う必要があります。そして、いったん私たちがいなくなると、覚えていてください。いったん、私たちがいなくなり、引き止めるものがなくなると、その時、すべての地獄の火蓋が切って落とされます。しかし、それまでは従事する必要があります。それまでは、私たちは地の塩、世の光でいなければなりません。そして、私たちの内の聖霊によって、神の世界に対する裁きが抑制され、したがって、反キリストの働きや現れを抑制します。だから私たちは、理由があって一時的にここにいるのです。そして、私は皆さんを奨励したいと思います。皆さんには、大きな目的があるのです。そして、この世でのあなたの目的は、この世を、神の王国として準備することではありません。そして、ここに戻って来られるイエスをお迎えするものではありません。いいえ。世界に真実を知らせるのです。そして、すぐにここから出ると信じる人を備えさせるのです。つまり、私たちは、出発の準備をする必要があるのです。彼の到着のためではなく、私たちの出発のために。私たちには、素晴らしい待ち合わせの場所があるのです。どこか知っていますか？雲の中です。イエスは、エルサレムがこう言うまで地上に戻って来られません。「祝福あれ、主の御名によって来られる方に。」(マタイ23章39節)主が言われました。そして、それはユダヤ人が大患難の後で、ひざまずく時に起こります。ホセア5章15節にあるように、

彼らが自分の罪を認め、わたしの顔を慕い求めるまで、わたしはわたしの所に戻ってしよう。彼らは苦しみながら、わたしを捜し求めよう。(ホセア5章15節)

信じられません。これほど明確なのに、非常に多くの人、クリスチャンでさえ、複雑すぎて理解できないのです。私には、それが分かりません。しかし、私は、あなたがまだここにいる理由について、皆さんにワクワクしてほしいのです。そして、私たちは、より大きな大義のために、ここにいることを理解してください。私たちは世界に知らせる必要があります。世界に福音を聞かせる必要があるのです。そして教会を目ざめさせる。なぜなら、私たちは、まもなく、本当にまもなく、王に会うのですから。いいですね。私はとてもワクワクしています。皆さんも、ワクワクしてほしいと思います。以上です。

私は現在、インドネシアのスラバヤから来た、約50人のクリスチャンのグループと一緒にいます。2ヶ月前に私を招待してくれた教会です。そして、私たちはとても興奮しています。今日、イスラエルツアーを始めたいばかりです。彼らは今朝、着陸しました。私は彼らをガイドし、これから6~7日間、彼らを引率します。そして、「第2回ユーロスピリット 預言カンファレンス」に向けて、アムステルダムに飛びます。私はオランダのシュミュエル牧師や、地元のスピーカーとの講演で、メイン講師を務めます。そして、この2週間で、3つ

のメッセージを共有できることを、楽しみにしています。ということで、ありがとうございました。これからも私のために祈り、家族、チーム、その家族のために祈ってください。今、たくさんのことを行っています。まもなく、“Bible Site / 聖書の地”を開始します。“Bible bites / ひとくち聖書”は、私のメッセージから抜粋した、短いメッセージです。“Bible Site / 聖書の地”は、実際、1分ほどの長さの、イスラエルの地の映像です。聖書に従って、そこで何が起こったかを伝えます。私は、それについて、とてもワクワクしています。たぶん、来月に開始します。来月、私たちはまた、ついに聖書の公共朗読を開始します。第1テモテ4章13節は、私たちは祈り、教え、説教し続けるべきだと言います。また、聖書の公共朗読をするべきだと告げています。だから、私たちは皆さんと、それをしたいと思います。

私が行くまで、聖書の朗読と勧めと教えとに専念しなさい。（第1テモテ4章13節）

他にも、たくさんのごことが、たくさんあります。詳しくは、ニュースレターをご覧ください。beholdisrael.orgよりサインアップしてください。当社のウェブサイトをご覧ください。そこには、ショップで私たちの教材を見ることができ、新しいセクションがあります。それと、新しく加わった他の商品も見ることができます。それからウェブサイト上では、私の公演ツアーの日程をご覧いただけ、他にもたくさんあります。

では、アロンの祝福で終わりましょう。皆さんは、残りの一日をお楽しみください。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/英語)

多くの混乱の中でも、すべての理解を超える平和。今も、永遠に、ここでも、どこでも平和を与えてくださる平和の君です。

彼の御名はイエス、イエシュア。
彼の御名によって私たちは祈ります。
アーメン。アーメン。

ありがとうございます。I love you !

God bless you !

私たちのために、続けてお祈りください。みなさんのお祈りとご支援で、ミニストリーを支えてください。私たちは、この世を騒がせたいと思っています。

God bless you !

シャローム

メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホルドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ> 2019.11.28 (Thu)